



ロータリー：
変化をもたらす

RI イアン・ライズリー会長テーマ

Weekly 2017-'18 Report

23

2018/1/17

クラブ会長テーマ 奉仕を通じて、みんなが輝こう！

第 2351 回例会報告

日 時：平成 30 年 1 月 31 日（水）

会 場：例会場

司 会：SAA

平川委員

開会点鐘：

小澤（谷）会長

斉 唱：ロータリーソング「日も月も星も」

お客様の紹介

小澤（谷）会長

許 俊彦様 第 2750 地区米山学友会会長

遠藤泰夫様 地区米山記念奨学委員会副委員長

会長報告

小澤（谷）会長

本日はありません。

幹事報告

寺澤幹事

● 2 月のロータリーレートは 1 ドル 110 円です。

● 多摩中グループ 第 8 回協議会の開催

日時 3 月 13 日（火）18 時

場所 パレスホテル立川

出席 小澤会長・寺澤幹事

● 多摩中グループ 新会員セミナーの開催

日時 3 月 13 日（火）18 時 30 分

場所 パレスホテル立川

出席 入会 3 年未満の方ですが、一般の会員も参加
できますので、参加お申込みください。

● 多摩中グループ第 85 回親睦ゴルフ大会

日時 3 月 23 日（金）

場所 狭山ゴルフクラブ



▲ 津戸会員増強委員長より 4 名に褒章プレートと表彰状の授与

参加取りまとめはゴルフ同好会です。

よろしくお祈いします。

● ロータリー財団・米山記念奨学会より

寄付金控除の申告用書類がきています。

メールボックス（引出）に配布しました。

● 地区大会 2 月 27 日の出欠変更は本日までです。変更
のある方は事務局までお知らせください。

● 下期年会費の振込をされていない方は、振込をお願い
します。

■ 会員増強褒章プレートと表彰状の授与 4 名

* 小澤谷守会長 * 村上隆秀会員

* 山崎義晴会員 * 遠藤常臣会員

委員長報告

● 50 周年記念事業委員会

吉野委員長

2 月 7 日例会後に第 3 回の事業委員会を行いますの
で、よろしくお祈いします。

● 横断幕の撤去について

関（重）広報・IT 委員長

例会終了後、参道に設置の横断幕の撤去作業を行いま
す。お手すきの方はお手伝いをお願いします。



RI 第 2750 地区 多摩中グループ

東京国立ロータリークラブ

会長 小澤 谷守

幹事 寺澤 武

例会日：毎週水曜日

例会場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事務所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL：kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB：http://kunitachi-rc.com/

会報委員：青木 健・平川 貴浩・岡本 貞雄・秋廣 道郎

ニコニコBOX

山岡親睦活動委員

●小澤谷守会長 本日の卓話講師 2750 地区米山学友会会長（許俊彦）さんには、よろしくお願ひいたします。又、2750 地区米山記念奨学副委員長 遠藤泰夫様のご来訪歓迎いたします。

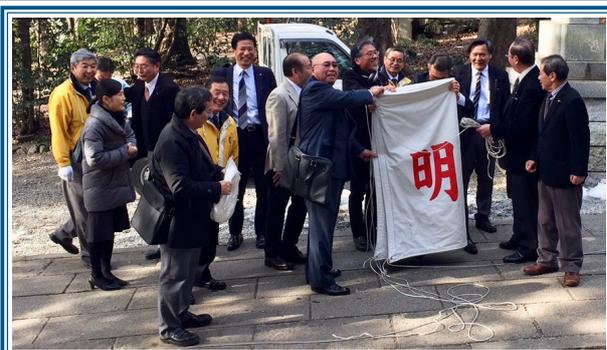
●寺澤幹事 許俊彦様お忙しいところ、お出でいただきありがとうございます。卓話、楽しく拝聴させていただきます。

●本間会員 先日の炉辺、遅刻して申し訳ございません。ニコニコします。

●木島会員 許俊彦さんには卓話のために遠路ご来会いただき、ありがとうございます。経験豊富な交流のお話をゆっくりと拝聴させていただくのを楽しみにしておりました。

●喜連紘子会員 許様ようこそお越し下さいました。豊富な体験談を伺いたく、楽しみにしております。

●近藤会員 許俊彦様、本日は卓話講師をお引き受け下さいまして、ありがとうございます。中国のお話し、米山の事など楽しみに聞かせていただきます。



■「迎春」の横断幕の撤去作業

▲1月31日の例会終了後、谷保天満宮の参道に掲げられていた「迎春」の横断幕の撤去作業が行われました。

●遠藤久会員 明日、千丑茶屋にて「くいしんぼう万歳」の撮影が有ります。松岡修造さんに、のらぼうを食べてもらおうと思っています。放送は1か月先だそうです。

●ニコニコBOX 合計 20,000円 累計 1,080,000円
出席報告 佐伯出席奨励委員長

1月31日 在籍 49名中 出席 39名

前々回(1月17日) 出席率 97.87%

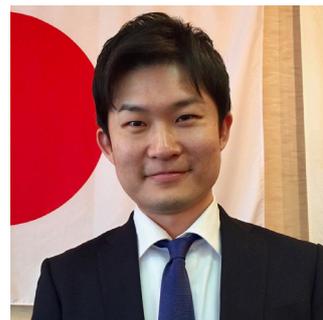
閉会点鐘

小澤(谷)会長

卓話

米山を通じて

第 2750 地区米山学友会会長 許 俊彦氏



■講師の紹介

木島米山奨学委員長

今年は米山記念奨学委員会が法人になってから 50 年という事で卓話を 2 回計画いたしました。

許さんは中国吉林省で 1984 年のお生まれです。2003～2007 年上海華東師範大学で日本語文学専攻。2005～2006 年東京学芸大学に 1 年間交換留学(初めての日本)。2008～2010 年高松大学大学院の経営学修士。2009～2010 年大学院生の時ロータリー米山奨学生。(世話クラブは RI 第 2670 地区「観音寺ロータリークラブ」(香川県))

卒業後、日本の会社でほとんど中国に派遣されていたそうです。2016 年 5 月に、友人と独立して会社を設立し、サインフラックス株式会社の社長さんです。お若いですがエネルギーに活動をされている方です。(LED 関係の会社を友人と経営し、主に建材・看板店に部材を提供しています。)

■卓話

●中国から日本にくるまで

私は中国吉林省延辺市から来ました。延辺市は中国と朝鮮半島の国境にある街で、少数民族の一つの朝鮮族の出身です。家の中では韓国語、外では中国語という環境で育ってまいりました。

祖母が若い頃に日本人の家で家政婦をしていて、その頃の話をよく聞いていて、私もいずれ「一度は行ってみたい国」という印象を持っていました。

●日本の底力に感化

中学生になると歴史の授業で戦争の話ができました。私の中ではアジアの東にある小さな島国が、あんな早い段階で世界で一番強い国になったのか。戦後廃墟だった国がどうやって再び豊かで強い国になったのか。日本の維新は政策面で勉強するよりは、それが実行できるような土台・社会構造だったり文化だったり、日本の底力と

してあったのではないか。そんなことを考えて私は日本という国を勉強しようと思い、上海の華東師範大学で日本語文学を選んで一生懸命勉強しました。

●来日して印象に残ったこと

毎日15時間くらい勉強し、その後1年間東京学芸大学に交換留学で来ました。留学生活は楽しく、その中で印象に残ったことが2つあります。一つは町のあちこちに選挙ポスターが貼ってあったこと。もう一つは「思いやりの精神」でした。特に感じたのは、東日本大震災の時に個人レベルではなく、社会レベルで譲り合っている日本人に感動と尊敬を感じました。その他にも経験したことがたくさんあって、上海で大学を卒業後に再び日本に来ることになりました。

●米山奨学金は「砂漠の中のオアシス」

高松大学大学院2年の時に米山奨学生になりました。私の影響で日本に来ていた弟も一緒に、両親は豊かではなく彼の面倒を全部見なくてはならなくて、毎日アルバイトばかりでした。そうした生活の中での米山奨学生は、砂漠の中のオアシスのような存在でした。

弟は留学生試験で総合科目で全国1位をとり、日本学生支援機構の1年間の奨学金支援をいただく事になり、立教大学としても4～5年ぶりに外国人を受入れ、彼も私も非常にプライドを感じております。

●ロータリーで「職業倫理」と「奉仕の精神」を学ぶ

経済面以上に感謝していることは、毎回例会に参加できたこと。ロータリーとの付き合いの中で、私の中で大きな変化が次のように2つありました。

①職業倫理＝自分の生活面のみならず、あらゆる社会活動、ビジネスにおいて職業倫理という概念を第一に守れるように日々実践しております。

②奉仕の精神＝施すではなく、どちらかというと奉ることだど聞きました。奉仕すればするほど私が感謝し幸せが増える。私も皆様のように、奉仕して感謝して幸せになれるような人生になりたいと強く思っております。

●今の中国に必要なこと

ロータリーの米山奨学金は、経済面以上に、その内容面で、私の価値観・人生観を大きく成長させて下さったことに感謝しております。現在、様々な理由で中国ではロータリークラブが認められていないと聞いています。

しかし私が日本社会で勉強した「互いに譲り合う心構え・職業倫理・奉仕の精神」というものは、どこの国よりも今の中国に必要な考え方、思想ではないかと思っております。このような考え方が中国に広まれば、周りからもっと信頼され愛される国になりますし、結果として



■中国吉林省延吉市

延吉市（えんきつし）は、中華人民共和国吉林省延辺朝鮮族自治州に位置する県級市。自治州政府の所在地である。朝鮮族が人口の過半を占め、韓国との合併企業も多い。町はハンガルの看板が溢れ、朝鮮語放送のテレビ局もある。ハングル表記はヨンギル。

この自治州は他の自治州と違い、少数民族が漢民族よりも豊かな生活を送っている。数年前までは東北部の辺境の町でしかなかった延吉市が、今では北京や上海と同じように高層建築が林立する大都市に変貌した。市民の自動車所有台数も全国でトップクラスにある。

延吉市は北朝鮮に隣接し、川の向こうには北朝鮮の建物や監視兵が見え、緊張感はあるが観光スポットでもある。



平和につながるものではないかと私は信じております。

●校友会会長として

世界中の校友と一緒に、このロータリー精神を広めることに、微力ではありますが、頑張ろうとしております。

2750地区校友会会長になってから、創立メンバーとして色々な試みをしてきました。今後は奉仕活動に重点をおこうと思っています。そして、2020年のオリンピックに向けて動いています。

奨学生はロータリーへの感謝の気持ちを忘れていません。卒業したばかりの奨学生は校友会に参加して、ロータリーとの絆を大事にしていく事が、今の私たちにできる恩返しです。だから「この絆を大事にしていましよう」と、仲間とよく話しています。

このような考えで米山校友会をやっております。経験もなく知識もなく情熱だけでやっていますが、皆様のご支援の下でしたら、頑張っていけるのではないかと考えております。今後もご指導をお願いいたします。



職場訪問 4

東京アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
東京メトロチャーチ

主管牧師 林 幸司さん



▲ 林 幸司主管牧師（教会にて）



▲ クリスマス礼拝でイエス・キリスト誕生のお話をする林牧師

■今日は、東京メトロチャーチを訪問し、当教会の歴史や取組みについて林幸司会員にお聞きしました。

取材日はクリスマス前で大変肌寒い日でしたが、教会の中はクリスマスの飾り付けがあって、暖かいアットホームな雰囲気の教会という印象を受けました。

■世界には約6億人のアッセンブリーズ・クリスチャンがいます。日本には225教会があり、信徒は約15,000人で、林会員は東京メトロチャーチの主管牧師であり、信徒は約100人とのことです。

東京メトロチャーチ（日本アッセンブリー・ゴッド教団）は、国立市商業振興（株）第三ビルで日曜礼拝を行っています。1日3回、1回に30人ほどの信徒が礼拝に訪れています。12月24日には、国立さくらホールにてクリスマス礼拝が盛大に開催されました。

■林幸司主管牧師は、1960年大阪出身。中央聖書神学校を卒業し、1988年より日本アッセンブリー教団牧師、富山県高岡市に赴任後、奥様の恵美子師と共に、アメリカテキサス州ダラスにあるクライスト・フォー・ザ・ネーションズ・インスティテュート（CFNI）にてワーシップコース（現代的教会音楽）を学びました。

1995年、立川市に東京メトロチャーチを開かれしました。また、ジェリコジャパン95（8,000人規模）、東京リバイバルミッション（10,000人規模、武道館）、Bob Fitsなどのピアニストとして奉仕し、全国の教会、セミナー、神学校で、ワーシップセミナーや講義を行っています。

そして、恵みの雨、リバイバル新聞、ハーザー（業界紙・雑誌）などでワーシップ（現代的礼拝音楽）についての

連載も執筆しています。

2002年に国立市に会堂を取得。2006年よりシンガポールにあるトリニティー・クリスチャン・センターより指導を受け、ケアセルモデル（小グループ活動）を採用して実践しています。

■2013年2月、隣家から出火、同教会を含め周囲の5軒が壁などを類焼しました。この火事で同教会の南側壁が焼かれ、看板が解けるなどの大きな被害を受けました。

その後、類焼した国立市の会堂を解体し、新会堂に向けて2013年4月より、クレストホテル立川、2015年4月より横田ICA、2017年11月より国立市商業振興（株）第三ビルで礼拝を行っています。国立の地が気に入り、今後も国立で活動していきたいとのことです。

隣家からの火災という、多大な損害を受けながらも立ち直り、信徒達を支え、教えを行っている林主管牧師の生き方そのものに筆者は感銘しました。その人柄からか、最近は結婚式や葬儀で牧師として声がかかる事も多いとのことです。

■林会員のご家族は、奥様の恵美子さん（東京メトロチャーチ牧師）と2人の娘さんとのことです。お二人は『Aika & Sambu』というユニットでCDを2枚リリース中です。

長女の愛香さんは現在、東京メトロチャーチ准牧師です。クリスチャンと共に音楽一家のようです。音楽家としても今後の活躍が楽しみです。

クリスマス前の多忙な時期に、親切、丁寧に取材に応じていただいた林会員と恵美子夫人、ご協力ありがとうございました。（取材：平川会報委員）